

目指せ！筑波山地域ジオパーク！

ジオパーク (Geo Park) の「ジオ (Geo)」は、「大地」や「地球」という意味。筑波山地域6市が、連携してジオパークの認定を目指しています。



2億年をさかのぼる石岡市の大地の物語を訪ねる歩き書きのシリーズ。全8回の掲載です。

いしおかの大地を歩く

第4回

盆地の縁をめぐる
(龍神山から不動峠)

恋瀬川を挟んだ対岸の権現山②も龍神山と良く似た岩石が露出する。細かな雲母のぎらぎらとした光沢があり、黒雲母が集まったゴマ粒のような斑紋が見られる。権現山から

は地平線を一望できる。尾根は権現山城という中世の山城の跡で、二重に築かれた土累や空堀が残っている。尾根伝いに浅間山③がある。テレビ中継塔が建てられている山頂はどこからでも尖って見える。これは変成岩が山頂を作り浸食に耐えているからだ。南側は花こう岩が分布しており県立中央青年の家④にかけては、なだらかな地形となっている。三ツ石森林公園⑤周辺にはこの花こう岩を小規模に採石した跡が多数ある。また変成岩はかつて採石されていて、跡地に雪入ふれあいの里公園⑥があり、園内で岩石の観察ができる。採石されていない所でも尾根の南側が急なのは浅間山と同じ理由だ。

変成岩はジュラ紀の海底にたまった泥や砂の地層が変化してできたものだ。竜は竜でも恐竜がいた時代、大陸の縁に作られたこの地層が現在日本列島の屋台骨を作っている。県内では八溝山地の地層がこれに当たり、筑波山周辺では地下の温度や圧力を受けて結晶質の岩石になっている。石岡付近で最も東に見られるのが龍神山・波付岩①になる。

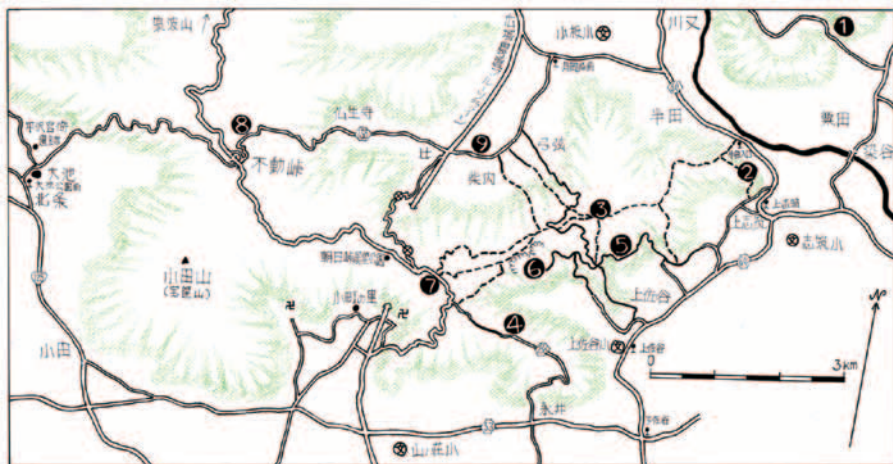
柿岡を中心に八郷盆地が広がる。ぐるっとまわりを山が囲んでいることが八郷盆地の風景の魅力で、だだっ広い関東平野の風景とは好対照である。西側の山並みは、筑波山から雨引山までは花こう岩やはんれい岩といったマグマ由来の岩石が作っている。一方その東側の山並みは、主に変成岩(筑波変成岩)からできている。

朝日峠東側の砂利敷きの駐車場⑦からは、関東平野に広がる台地とそれを刻む河川や谷津、湖を一望にし、地域の地形の様子がよくわかる。北側の柵平林道には変成岩が露出しており、鉱物の粒が粗くなり、黒雲母のゴマ粒が消えている。ここから尾根沿いに筑波山まで観光道路が続くが、岩石の露出は良くない。不動峠⑧を越える県道沿いに露出する岩石は更に粒が粗くなっている。変成岩の鉱物の粒の大きさや組織の変化、含まれる鉱物の組み合わせから、西側ほどより温度が高い

朝日峠東側の砂利敷きの駐車場⑦からは、関東平野に広がる台地とそれを刻む河川や谷津、湖を一望にし、地域の地形の様子がよくわかる。北側の柵平林道には変成岩が露出しており、鉱物の粒が粗くなり、黒雲母のゴマ粒が消えている。ここから尾根沿いに筑波山まで観光道路が続くが、岩石の露出は良くない。不動峠⑧を越える県道沿いに露出する岩石は更に粒が粗くなっている。変成岩の鉱物の粒の大きさや組織の変化、含まれる鉱物の組み合わせから、西側ほどより温度が高い

朝日峠東側の砂利敷きの駐車場⑦からは、関東平野に広がる台地とそれを刻む河川や谷津、湖を一望にし、地域の地形の様子がよくわかる。北側の柵平林道には変成岩が露出しており、鉱物の粒が粗くなり、黒雲母のゴマ粒が消えている。ここから尾根沿いに筑波山まで観光道路が続くが、岩石の露出は良くない。不動峠⑧を越える県道沿いに露出する岩石は更に粒が粗くなっている。変成岩の鉱物の粒の大きさや組織の変化、含まれる鉱物の組み合わせから、西側ほどより温度が高い

朝日峠東側の砂利敷きの駐車場⑦からは、関東平野に広がる台地とそれを刻む河川や谷津、湖を一望にし、地域の地形の様子がよくわかる。北側の柵平林道には変成岩が露出しており、鉱物の粒が粗くなり、黒雲母のゴマ粒が消えている。ここから尾根沿いに筑波山まで観光道路が続くが、岩石の露出は良くない。不動峠⑧を越える県道沿いに露出する岩石は更に粒が粗くなっている。変成岩の鉱物の粒の大きさや組織の変化、含まれる鉱物の組み合わせから、西側ほどより温度が高い



▲龍神山～不動峠付近案内図

案内図⑦の朝日峠展望公園から見える景色は絶景ですよ



文 環境省委嘱
自然公園指導員
矢野徳也

地下深くにあったと考えられている。この辺りの山は暖地性植物も多く自然が豊かな所だ。山歩きも楽しみたい方は朝日里山学校⑨などを足がかりにして、一日楽しむのも良いだろう。

この辺りの山は暖地性植物も多く自然が豊かな所だ。山歩きも楽しみたい方は朝日里山学校⑨などを足がかりにして、一日楽しむのも良いだろう。